



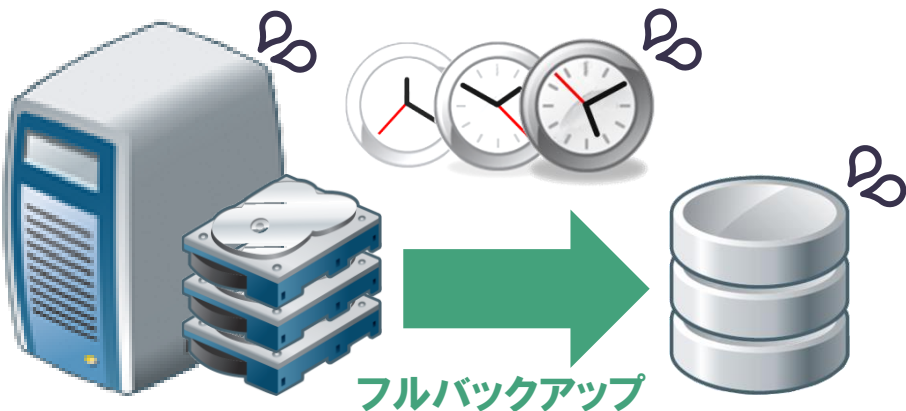
Arcserve Backup r16.5

合成フルバックアップによる
大容量ファイルサーバのバックアップ

> 大容量ファイルサーバのバックアップ、
こんな課題はありませんか？

課題①

フルバックアップ時間の長期化

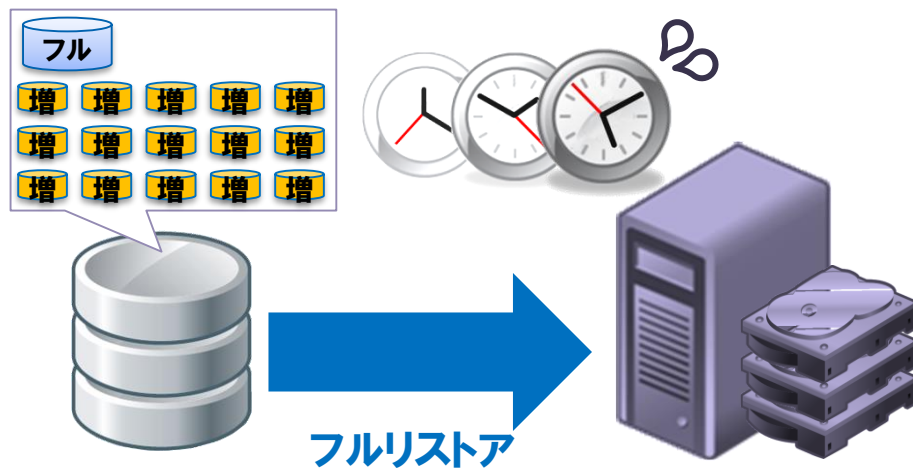


容量が多すぎてフル
バックアップが週末だ
けでは終わらなくなっ
てきました...



課題②

フルリストア時間の長期化



極力フルバックアップ
を取らずに運用してい
たら、フルリストアにか
なりのかかってしまっ
てきました...



> 合成フルバックアップとは

増分バックアップを定期的にフルバックアップに「合成」しリストアを簡略化します。また、初回のフルバックアップ以降は増分バックアップのみで運用できます。

増分バックアップのみの運用

一般的な増分バックアップ運用は定期的にフルバックアップが必要

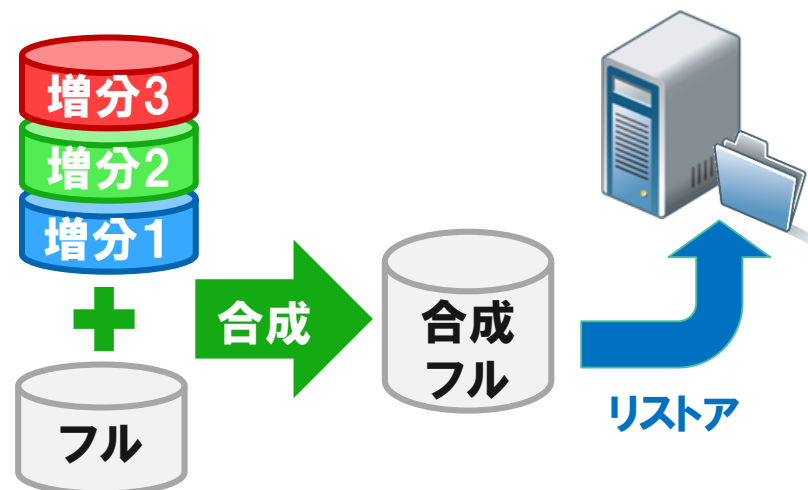


合成フルバックアップによる運用の場合、初回のフルバックアップ以降は不要



リストアの簡略化

合成フルバックアップデータから1回でフル リストアできる



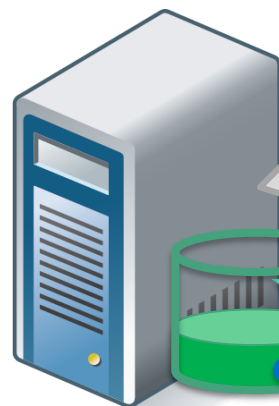
> ファイルサーバで合成フルバックアップを利用する場合の例

バックアップ対象サーバでは増分バックアップのみ行うことでバックアップ処理にかかる負担を軽減します。また重複排除機能を利用し、ディスク使用量を軽減します。

平日: 対象サーバでは増分バックアップを実行するだけ



増分データを転送



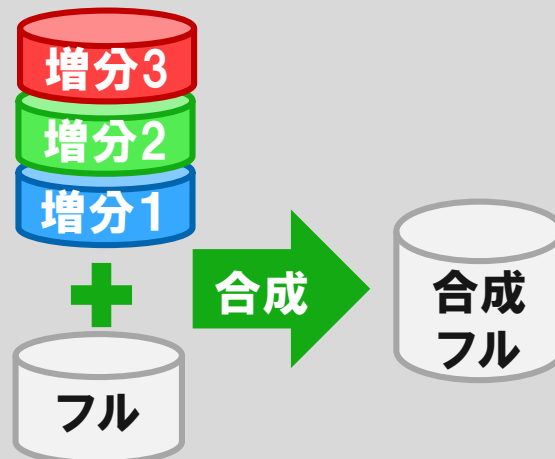
ファイルサーバ

Client Agent +
Open File Agent

バックアップサーバ

Arcserve Backup 本体

週末: バックアップサーバ側で合成処理を実行



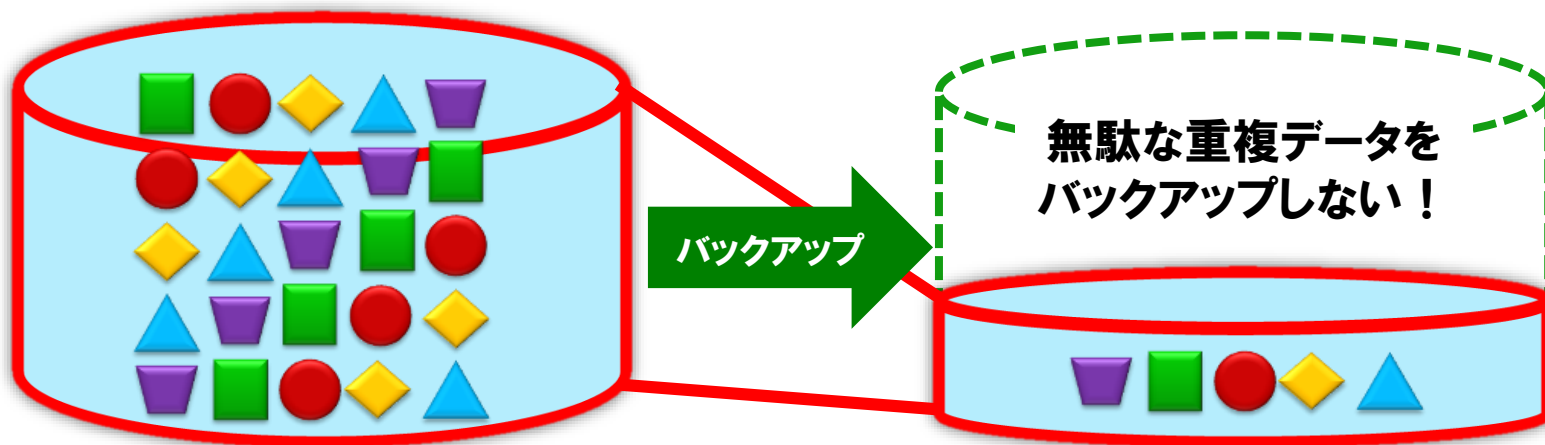
TIPS: 重複排除機能を利用

バックアップデータを圧縮。
ディスク使用量を抑える

> <参考> 重複排除機能
(データ デデュープリケーション)

バックアップ対象データ
100%

バックアップ対象データ
平均93%圧縮に成功！



① ディスクを節約

バックアップ用ストレージの
購入費用を抑えます

② 設定が簡単！

バックアップ先のデバイスは
1つでOK！ローテーションを
考える必要はありません。

③ しかも無料！

オプションの購入不要。
標準機能で使えます。

効果事例はWebで！

デデュープ特集

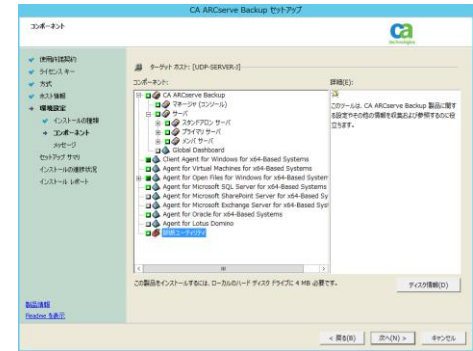
検索

arcserve®

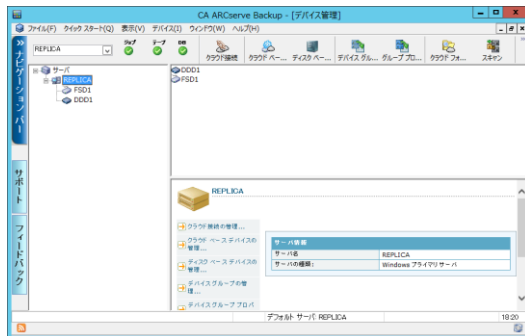
> 利用は以下3つのステップを実施

ファイルサーバで
合成フルバックアップ＋
重複排除機能を
利用するための3つのステップ

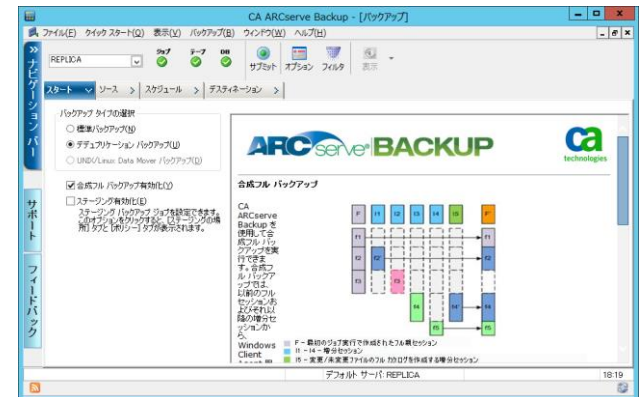
Step1: 対象サーバにAgent for Open File インストール



Step2: データ デデュプリケーション デバイス (DDD) を作成



Step3: 合成フルバックアップジョブ作成



> STEP1 : 対象サーバに Agent for Open Fileをインストール

- 対象のファイルサーバにAgent for Open Filesをインストール
※ 合成フルバックアップの利用にはAgent for Open Filesのライセンスが必要です

[リモート ノードのみ合成フルバックアップを実施する場合]

Client Agent
for Windows

Agent for Open Files



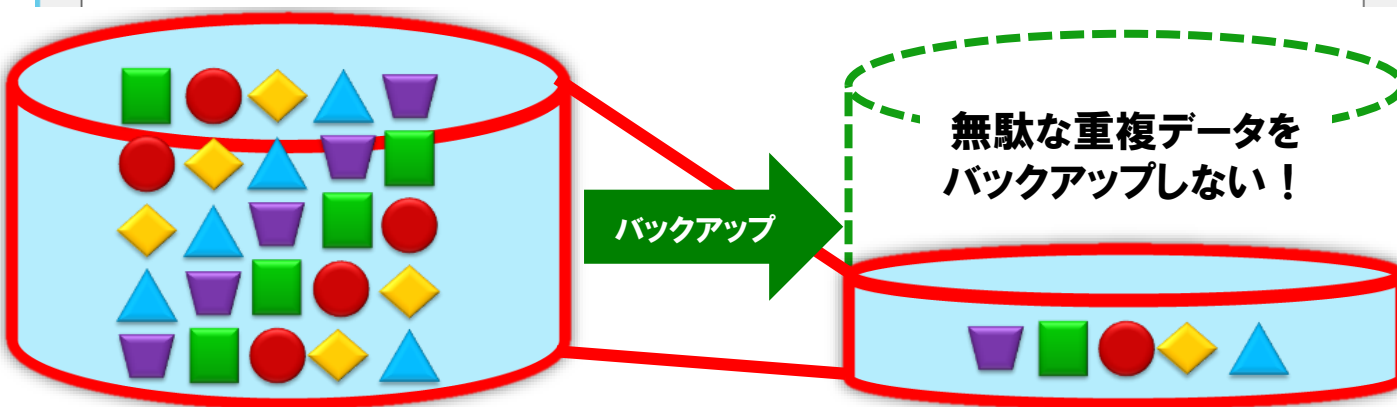
Arcserve Backup
サーバ



製品	本数
Arcserve Backup 本体	1
Client Agent for Windows	1
Agent for Open Files	1

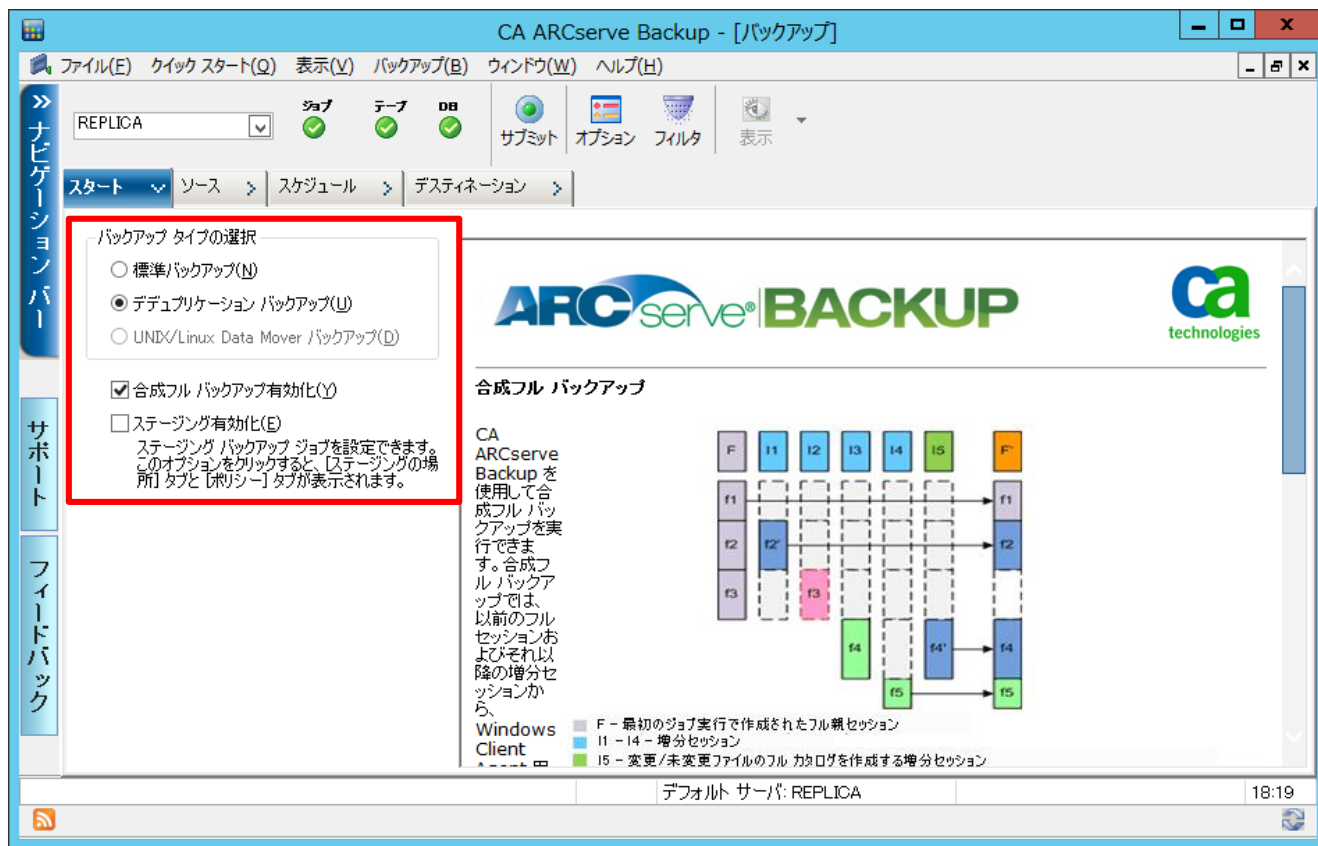
> STEP2: データデデュープリケーション デバイス(DDD)の作成

- デバイスマネージャから[ディスクベースデバイスの管理]画面で「デデュープリケーションデバイス」を作成



STEP3 : 合成フルバックアップジョブの作成

- バックアップマネージャの[スタート]タブで「デデュープリケーション バックアップ」を選択し、「合成フル バックアップ有効化」にチェックを入れ、バックアップジョブを作成・実行

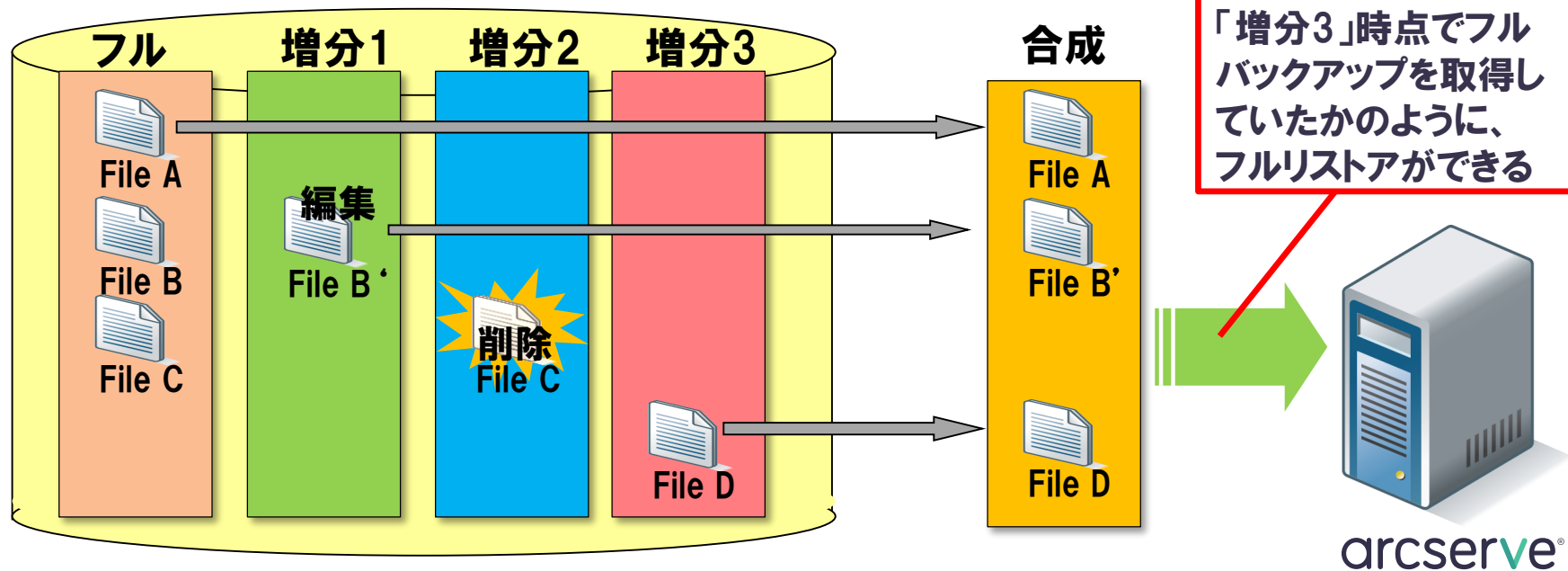


> Point-In-Time(PIT)リストア

PIT リストアとは、バックアップ時にソース上に存在したファイルを、その時点の状態でリストアできるようにする機能です。削除されたファイルは含まれないため、フルリストア時にもバックアップ時と同じ容量で戻すことができます。

[リストア例] 以下、増分3 のセッション後にPIT リストアを実行

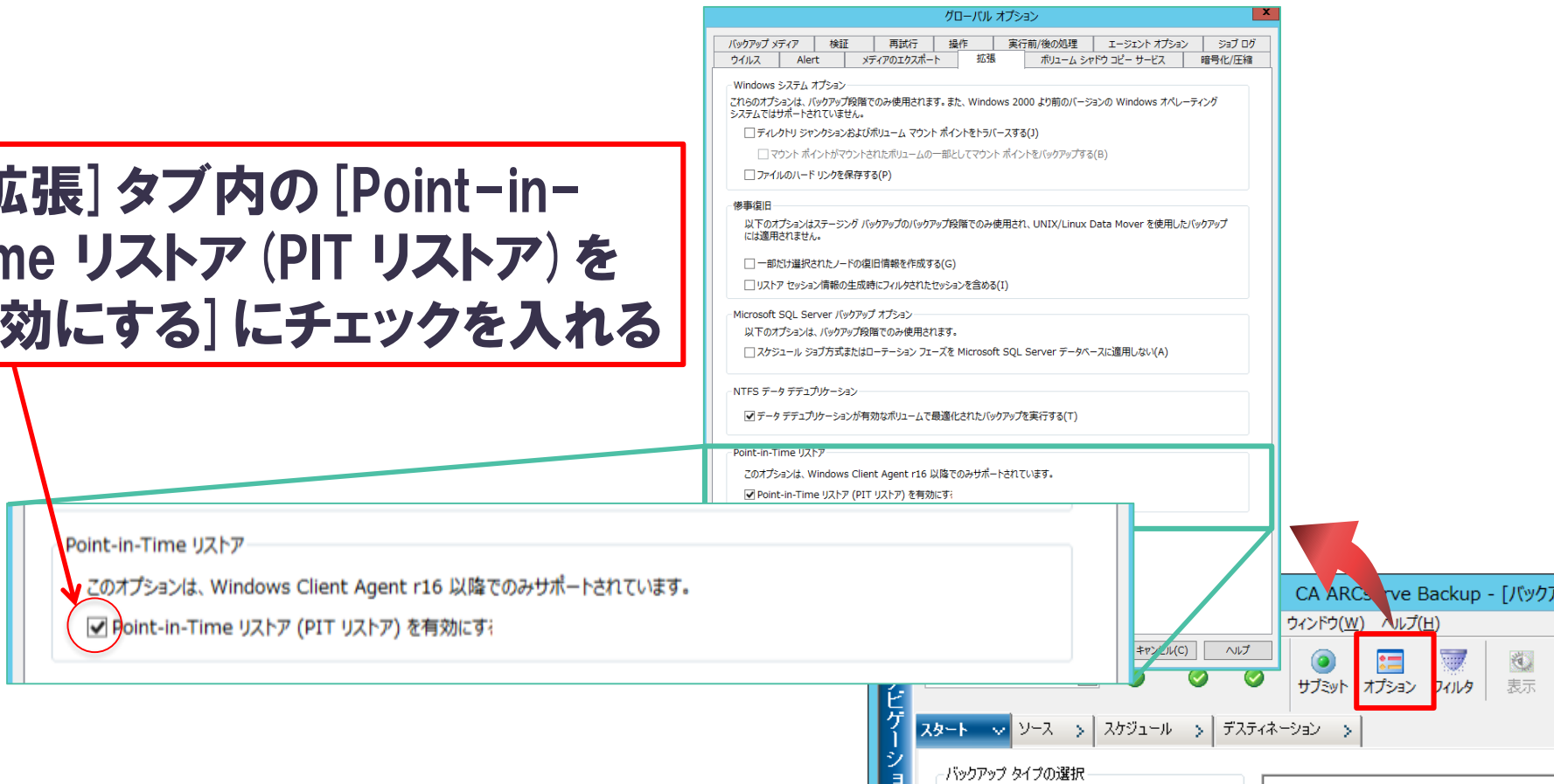
- ✓ 増分2 実行前増分3 実行時に存在した全ファイル/フォルダがリストア対象
- ✓ 削除されたファイル (File C) はリストアに含まれない



> PIT リストアの設定方法

PIT リストアの設定はバックアップ ジョブ作成時に
グローバル オプションで行います

[拡張] タブ内の [Point-in-Time リストア (PIT リストア) を有効にする] にチェックを入れる



> お問い合わせ



Arcserve.com カタログセンター（カタログ、技術資料）

<http://www.arcserve.com/jp/products/catalog-center.aspx>

Arcserve カタログセンター

検索



Arcserve ジャパン・ダイレクト（購入前のお問い合わせ）

例:「この構成で必要なライセンスを教えてください」、「Arcserve UDPはXXXに対応していますか?」、「XXXはサポートされますか?」



フリーダイヤル: 0120-410-116

（平日 9:00～17:30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます）

<http://www.arcserve.com/jp/lpg/customer-care.aspx>